

手術治療に力を注ぐ白内障などに対する

「先生、すごくよく見えます」。手術の



SPECIAL REPORT

## 「目」を守ることは 全身の健康を守ること。

## 眼科特集

加齢に伴うさまざまな目の疾患を適切に治療し 高齢者のイキイキとした暮らしを支え続ける。

医長の井岡大樹(いのおか だいき)は、次の

この手術を行ったみよし市民病院・眼科

ょうに話す。「社会の高齢化に伴い、白内障

任せていただきたいと思います」と、井岡は のものを取り揃えていますから、安心して

は通常、局所麻酔で行われる。薬を点眼し 治療法は手術になります」。白内障の手術 と思います。しかし、進行すると、根本的な ごく早期であれば、目薬を出す先生も多い を患う高齢の患者さんが増えていますね

●糖尿病が網膜症や黄斑症を起こす

て目の表面に麻酔をかけ、白目のところに

小さな創口を作り、超音波の器具を挿入。

生活習慣病、さらに脳梗塞や脳腫瘍 はない。高血圧や脂質異常症といった と全身の病気との関連はそれだけで ことはよく知られているが、目の病気

なども同様に目の障害を誘発す

手術を受けて視力と視野を改善させたS

かり、不便な生活を送っていた。思い切って 新聞を読むにも、薬を飲むにも時間がか むようになり、視力も0.くらいまで低下

さんは、以前のような快活な生活を取り戻

すことができたのである。

経験豊富な眼科医を招いて行っています。 保するために、手術をするときは院外から る高度な手術だ。「患者さんの安全性を担 を施すもの。極めて精緻な技術が求められ

もちろん、手術器具・装置はいずれも最新

年齢とともに白く濁り、視界がぼやけて霞 障。水晶体というレンズに相当する部分が 弾ませて報告した。Sさんの病気は、白内 翌日の診察で、Sさん(70代女性)は声を

眼球に小さな穴を数カ所あけて器具を挿 対する手術も積極的に行っている。これは、

入し、出血などで混濁した硝子体に治療

障手術のほか、眼球の内部を満たしている 井岡の就任をきっかけに強化された。白内

状の硝子体(しょうしたい)の疾患に

慎重に見守っていきます」と、井岡は話す。 院後も定期的に通院していただき、経過を

こうした手術体制は、令和2年10月に

### 超高齢社会における 眼科医療の果たす役割。

- ●高齢社会の進展に伴い、白内 障や緑内障、ドライアイなどを患う 人は年々増えている。みよし市民 病院の眼科は、こうした疾患に対 して適切な治療を行い、高齢者 の視力を守り、生活の質を守るべ く取り組んでいる。
- れだけではない。目の検査・診断 を通じ、全身の疾患の兆しを早期 にとらえる役割も担う。同院の眼 科は、健康長寿を支える上で、市 民にとってなくてはならない存在と いえるだろう。



低下も確実に進む。「私たちが受け取る情 ない。しかし、視力が落ちると、生活の質の といわれています。目が見えにくくなると、 眼科疾患の多くは命に関わるものでは

# みよし市民の目の 健康を守っていく

先し、最低でも1泊2日の入院で行ってい

る。「術後も合併症予防や網膜のむくみな

行う施設もあるが、同院では安全性を最優 体への負担は比較的少ない。日帰り手術を

の疾患だけでなく、

切。眼科と身近につき合うことで、

する。手術時間は20分程度と非常に短く、 を砕いて吸引し、そこに人工のレンズを挿入 最小限の超音波の力で水晶体の濁った部分

しく調べる検査)」を受けることが大査(目の奥の血管や神経の状態を詳●高齢になれば、定期的に「眼底検

ことも事実だ。「明らかに患者さんが減って に適した治療を提供している。ただ、昨年 の網膜疾患、緑内障など、それぞれの疾患 対応。糖尿病網膜症や加齢黄斑変性など はじめとした一般的な眼科疾患に幅広く らに狭くなってしまうケースもあります」 切れたのにそのままにしていて、視野がさ 進行を抑える治療が一般的ですが、目薬が か心配ですね。たとえば、緑内障は目薬で いますから、それぞれの病気が悪化しない から続く新型コロナウイルスの感染拡大に より、受診を控えている患者が増えている 同院の眼科では、ものもらいや結膜炎を

ことに繋がる。高齢になっても、 相談していただきたいと思います」。 先延ばしにすることなく、私たち専門医に からこそ、視力などに違和感を覚えたら、 なるほど、目を守ることは生活の質を守

と全身の健康を守っていこうとしている。 医療の果たす役割は非常に大きい。井岡は 健やかに、安全に暮らしていく上で、眼科 ることであり、ひいては全身の健康を守る

な病気が見つかることもよくあります。だ になったりします。目の診察を機に、重大 網膜症になったり、膠原病からドライア がっていることです。たとえば、糖尿病から なポイントは、目の疾患が全身の疾患に繋 岡は言い、さらに続けた。「もう一つの重要 質を著しく損なうことになります」と井 そういう方から視力を奪うことは、生活の だけが楽しみという方もいらっしゃいます。 仕事や家事など日常生活に支障が出ます で療養している高齢者のなかには、テレビ し、転びやすくなったりします。また、在宅